

目標と指標の設定について

目標、及び指標	方法
目指すべき姿	<ul style="list-style-type: none"> ・本検討会での議論を踏まえ、「健やか親子21」における、我が国全体として目指すべき姿を検討する。
基本的な方向	<ul style="list-style-type: none"> ・上記の目指すべき姿を実現するための基本的な方向性について検討する。 <p><参考>最終評価報告書で示された6つの柱(①思春期保健対策の充実、②周産期・小児医療・小児在宅医療の充実、③母子保健事業間の有機的な連携体制の強化、④安心した育児と子どもの健やかな成長を支える地域の支援体制づくり、⑤「育てにくさ」を感じる親に寄り添う支援、⑥児童虐待防止対策の更なる充実)</p>
アウトカム指標	<ul style="list-style-type: none"> ・研究班にて指標の案を作成し、本検討会において検討する。 ・「健やか親子21」における指標は、アウトカム指標で評価することを基本とする。 ・設定にあたっては、経時的な比較評価が可能となるよう公的な統計を用いる。 ・国民運動であることを踏まえ、国民の行動や活動の評価につながる指標を設定することも考えられる。
アウトプット指標	<ul style="list-style-type: none"> ・研究班にて指標の案を作成し、本検討会において検討する。 ・上記のアウトカム指標が設定困難な課題については、アウトプット指標を設定する場合もある。 ・アウトカム指標の評価にあたっては、取組(アウトプット)が十分であったかが重要となるため、併せて評価することが必要。 ・アウトカム指標の改善において、改善したかどうかを評価するには年数を要することもあるため、その間はアウトプット指標で評価することも考えられる。
プロセス指標	<ul style="list-style-type: none"> ・研究班にて指標の案を作成し、本検討会において検討する。 ・ストラクチャー指標も、プロセス指標の一つとして含めてはどうか。 ・上記のアウトカム指標が設定困難な課題については、プロセス指標を設定する場合もある。 ・プロセス指標の評価にあたっては、取組(アウトプット)は十分にあるにもかかわらず、アウトカムが不良の場合は、そのプロセスに問題がないかを検討する。 ・プロセスは、地方公共団体独自に検討することになるために、国の目標値として設定することは適切ではないため、地方公共団体が自ら確認できるための項目等を整理し、提示してはどうか。

一般的な指標の設定の考え方

評価の観点	指標の評価内容	指標の具体例
アウトカム(結果)	事業の目的・目標の達成度、また、成果の数値目標に対する評価。	肥満度や血液検査などの健診結果の変化、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備軍、死亡率、要介護率、医療費の変化など
アウトプット(事業実施量)	目的・目標の達成のために行われる事業の結果に対する評価。	健診受診率、保健指導実施率、保健指導の継続率など
プロセス(過程)	事業の目的や目標の達成に向けた過程(手順)や活動状況の評価。	保健指導の実施過程、すなわち情報収集、アセスメント、問題の分析、目標の設定、指導手段(コミュニケーション、教材を含む)、保健指導実施者の態度、記録状況、対象者の満足度など
ストラクチャー(構造)	保健事業を実施するための仕組みや体制の評価。	保健指導に従事する職員の体制(職種・職員数・職員の資質等)、保健指導の実施に係る予算、施設・設備の状況、他機関との連携体制、社会資源の活用状況など

※それぞれ評価指標、評価手段、評価時期、評価基準を明確にする。